

八重山毎日新聞

THE YAEYAMA MAINICHI SHINBUN

12月14日火曜日
2010年(平成22年)

発行所

株式会社 八重山毎日新聞

〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城614

不連続線

26日から沖縄本島の児童が
県内5離島で体験学習を行う
ことになった。八重山には、
壺屋小の子どもたち33人が訪
れ、西表でサトウキビ収穫や
黒糖作り、文化・歴史学習を
行うという▼これは県の事業

で、離島体験を通してその魅力や重要
性、特殊性などを知り、本島と離島の
交流促進を図ろうというもの。今年は
試験的取り組みで、成果があれば来年
度以降も継続するという▼県は「沖縄
21世紀ビジョンで離島地域住民の負担
を県民全体で支え合う新たな仕組みを
構築するが、現状は本島住民の離島に
対する関心は低い」として、将来を担
う子どもたちに期待、事業を立ち上げ
たようだ▼確かに郡民の多くが本島の
事情に詳しいのに対し、本島では「離
島に行ったことがない」という人も少
なくない。各種スポーツ大会に参加す
る児童生徒はいるが、大半が宿泊所と
競技場の往復にとどまっている▼離島
のことを知らなければ、そこでさまざま
な問題が起きても無関心になりかね
ない。逆に知っていれば、共通の問題
意識も生じよう▼県はこの事業は各
島々から評価されるだろうし、また期
待も大きいだろう。だがあと一歩踏み
込んでほしい。それは本島児童生徒の
修学旅行先を離島に方向性だ。3
市町教育長は、県内教育委員会の各会
合で訴えてほしい。
(黒島安隆)